

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	南信濃中山間地域振興事業(木沢モデル)	会計	一般会計	事業No.	631	施策順No.	72-018
		事業種別	政策・重点	予算科目	2-1-5-15-3		
政策	7 自立・連携した地域づくり					課等名	南信濃自治振興センター
施策	72 自立に向けた住民組織力の向上	事業期間	開始	22	終了		

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	木沢地区						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		木沢地区自治会数	10	10	10	10	10	
		木沢地区人口(～21年度市年齢別人口統計表 4月1日現在)	319	300	297	290	286	
意図	①木沢地区の交流人口を増やす ②南信濃地区全体の交流人口を増やす							
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	木沢地区交流人口(人) * 算定根拠 旧木沢小学校見学者数	4285	3965	4335	4300	4469	4490	A
	南信濃交流人口(人) * 算定根拠 かぐらの湯入り込み客数	87429	84075	82105	88000	75962	80000	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	メディアへの露出、地元住民の取り組み等で情報発信に努めているが、7月豪雨災害の影響があり交流人口の減があった。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	南信濃地区では、若年層を中心に人口減少が続き、過疎化の進行と少子高齢化が急速に進んでおり、地域の担い手不足からコミュニティー活動を維持するのが難しくなっている。一方で、南アルプスの山々や渓谷美、清流などの豊かな自然や国の重要無形民俗文化財指定の「遠山の霜月祭り」に代表される固有の伝統芸能や山国の日常の暮らしなどを元とした山国文化がこの地区には存在する。このような状況にあつて、南信濃地区では、「若者が住みたい、住み続けたい」と思う地域づくりを目指しており、地区の魅力を発信して多くの人に遠山郷に対する理解を深めていただくことにより、交流人口の増加を目指した活動を行っている。その中で、上村下栗地区とも連携して、上村、南信濃両地区を合わせた「遠山郷」の視点を重視しつつ、最も熱心に活動を行っているのが木沢地区であり、その取組は地区全体が手本としている。木沢地区の活動をモデル事業として支援し、交流人口を増加させることで、地区全体への波及効果を目指す。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 交流人口増加のための取り組み (1) 浜井場小学校児童の農業体験(6月・7月・10月・12月)受入支援 (2) 南アルプス開山祭(6月)支援 (3) 森林鉄道軌道ウォーキング(11月)活動支援 (4) 霜月祭り体験ツアー(12月)の実施支援 (5) 旧木沢小学校展示物の見学のための来訪者 (6) 第4回マラニック大会 (7) 児童擁護施設サマーキャンプ(8月) (8) アルゼンチンタンゴ交流(9月) (9) 県公民館交流事業 (10) 藤原学校	1 (1) 受入人数 (2) 参加者数 (3) 参加者数 (4) 参加者数 (5) 来訪者数 (6) 参加者数 (7) 参加者数 (8) 参加者数 (9) 参加者数 (10) 参加者数	1 (1) 142人 (2) 40人 (3) 24人 (4) 80人 (5) 3600人 (6) 280人 (7) 30人 (8) 50人 (9) 80人 (10) 143人
	2 活動拠点の確保・整備 (1) 旧木沢小学校施設改修(屋根の葺き替え)	2 (1) 施設改修費	2 (2) 8,589千円
23年度実施計画	1 交流人口増加のための取り組み (1) 浜井場小学校児童の農業体験(6月・7月・11月)受入支援 (2) 南アルプス開山祭(6月)支援 (3) 森林鉄道軌道ウォーキング(11月)活動支援 (4) 霜月祭り体験ツアー(12月)の実施支援 (5) 第5回遠山郷マラニック大会 (6) 旧木沢小学校展示物の見学のための来訪者 (7) 児童擁護施設サマーキャンプ (8) アルゼンチンタンゴ交流会 (9) 藤原学校他	1 (1) 受入人数 (2) 参加者数 (3) 参加者数 (4) 参加者数 (5) 参加者数 (6) 来訪者数 (7) 参加者数 (8) 参加者数 (9) 参加者数	1 (1) 130人 (2) 40人 (3) 30人 (4) 80人 (5) 250人 (6) 3,600人 (7) 30人 (8) 50人 (9) 280人
	2 活動拠点の確保・整備 (1) 旧木沢小学校施設改修(トイレ他) (2) 梨元ていしゃ場(ていしゃ場の活用検討、南アルプス登山案内開設検討)	(1) 施設改修費 (2) 開催数	(1) 7,000千円 (2) 6回

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金				特定財源内訳、補足事項	合併特例交付金
	起債	県支出金	8,600	8,580			
		起債			7,000		
		その他					
	一般財源	計(A)	8,600	8,589	7,000		
人件費計(B)			200	715			
トータルコスト A+B			9,304				

4 事業に対する市民や議会の意見

地区要望が高い

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	地域で考え、地域で活動し役割を果たせる組織となる	施策の成果指標又はムトス指標	自主的な地域づくりの活動回数(まちづくり委員会主催による活動)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	飯田市南信濃都市山村交流促進施設(旧木沢小学校)を拠点施設として「木沢地区活性化推進協議会」が都市住民との交流の場として活動してきた。 施設の保存活動及び老朽化の対策に取り組んできている。		自主的な地域づくりの参加人数(まちづくり委員会主催による活動)
	後期に向けた課題	施設を飯田市と指定管理協定を締結し、地域の拠点施設と捉え、地域住民と都市住民との交流の場、地域住民相互の交流の場として活用し施設の保存活動にも取り組んで行く。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてきましたか	4年間の振り返り	施設を活用しイベントなどを通して都市住民との交流を行ってきた。		
	後期に向けた課題	イベント、学習会、講演会等を開催し、交流の促進に努めて行きたい。		
コストを削減するためにどのような工夫をしてきましたか	4年間の振り返り	利用料等明確でなかったため、指定管理協定を締結して利用料を明確にした。		
	後期に向けた課題	施設の維持管理について管理費等の見直しを図って行きたい。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り			
	後期に向けた課題			
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	①飯田市南信濃都市山村交流促進施設(旧木沢小学校)を拠点施設として「木沢地域活性化推進協議会」が都市住民との交流の場として活動してきた。 ②上記施設の条例制定及び指定管理に向けた事務支援。		
	後期に向けた課題	地域の拠点施設と捉え、地域住民と都市住民との交流の場、地域住民相互の交流の場として有効に活用し行くための支援等のあり方。		
全体を通じて	4年間の振り返り	木沢地区で、飯田市南信濃都市山村交流促進施設(旧木沢小学校)を拠点に活動している「木沢地域活性化推進協議会」と食事提供の梨元でいしゃばを管理運営する「梨元管理組合」、木沢生活センターを拠点とする「まちづくり委員会木沢区会」が相互に連携を図ることを目的に木沢地区企画戦略委員会を設立し木沢地区全体の地域づくりを展開している。		
	後期に向けた課題	木沢地区活性化に向けたビジョンを策定するとともに、遠山郷観光戦略計画策定に連動して交流人口の増加に繋げたい。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	--